

# 長崎高教組新聞

発行  
〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5号 長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合  
電話 (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集責任者 大場雅信  
購読料 一部10円は組合費を含む  
メールアドレス naga-kks@fsinet.or.jp

## 第214定期中央委員会

### ダイジェスト版

# すべての職場で組織強化・拡大のとりくみをすすめてよう！

長崎高教組は1月26(土) 大村市民会館で、第214回定期中央委員会を開催します。今回の中央委員会は、昨年12月に行われた総選挙で自公が圧勝し、「財界、アメリカ」いいなり、国民不在の政治がますます強まり、また 憲法改悪に執念を燃やす安倍首相が改悪を先行に移す動きが強まっています。その大

金も、年取も下がり、退職金も大幅に減額され、将来どうなるのかが見通せなくなっている状況があります。こういった中で、今中央委員会で私たちが教職員の教育条件の改善と労働条件の改善をすすめるための具体的とりくみについて、各職場での実践報告をも含めて総括と今後の方針について論議します。それぞれの課題についての論点は次のとおりです。

## 全組合員の「一言メッセージ」にむけて！

組織強化・拡大については、全体としてとりくみは不十分です。その大きな原因は、職場の多忙化にあります。出勤日の時間外勤務に加えて、週休日の勤務、職場での管理強化など私たちの勤務はますます過酷となっています。しかし、このような状況こそ、定期的に職場集会を開催し、組織拡大の意志を確認する必要があるのです。方針の加入呼びかけのための「一言メッセージ」のとりくみを提案しています。



2011年度中央委員会

また、年度末にかけての分会・支部でのとりくみを強めるとともに、来年度に向けての新役員体制の早期確立にも触れています。

## 労働条件改善のたたかいは子どもと教育を守るたたかいかいでもある

教職員の労働条件の改善、権利の確立については、今年度の確定交渉の総括及び退職手当改悪に対する県教委交渉について述べています。確定交渉の賃金面では、実習教員の2級格付けの課題で、格付け年齢では要求に達してはいませんが、2歳の改善を一步前進と評価しました。超勤縮減では、出勤調査で月45時間超及び80時間超も集計するようにしたことや「休める日」をつくるよう管理職への指導を強く求めること、勤務実態調査を実施することなどを確認しました。

退職手当削減の課題では、大幅な削減を阻止できなかったものも、教職員の賃金を巡る情勢とも合わせて、私たちのたたかいがこれからの賃金動向を左右すると言っても過言ではない状況になっています。相次ぐ賃下げ

と過去に類を見ない大幅な退職手当の減額は、教職員の確保にも大きな影響を及ぼすことになりました。事実、東京など大都市が存在する自治体での教員志望の倍率は年々低下してきています。賃下げなどの公務員全体に対する一方的な労働条件改善に加えて、教職員の過酷な勤務実態が、若者の教職希望に対して悪影響を与え始めていることが推察されます。この点でも、私たちの労働条件の改善を求めたたたかいは、賃上げを求めたたたかいは、時間過密労働の解消を求めるとともに、単に、私たち教職員のためだけのたたかいは、捉えるだけのたたかいは、教育条件の改善であり、子どもと教育を守るたたかいかいでもあることを広く世論に訴える必要があります。これらの点で、中央委員会で議論をお願いします。

## 支部で、職場で「網の目教研」を開催しよう！

教育の課題については、教研活動や教育条件改善のとりくみについて総括しています。

今年度の夏季教研・県教研の参加者は例年とほぼ同じ数でした。各分科会ともやや報告レポートが少なくなってきたことが指摘されていますが、支部、分会の教研活動が低調になっていることが大きな理由の一つ

科会の内容・感想が県教研の該当分科会で報告されました。

教育条件の課題では、今年度の教育全国署名ととりくみと県議会請願について報告しています。この署名は、24年間、全国で続けられています。教研の開催と同様に、長崎私教連との合同のとりくみであることも重要です。

## 憲法改悪を許さない 国民世論を大きく広げよう！

平和・民主主義のとりくみでは、今年度の原水爆禁止世界大会のとりくみや脱原発のとりくみ、憲法改悪反対長崎県共同センターのとりくみについて報告しています。

## 当面の方針について

当面の闘争方針については、2013年春闘の基調を踏まえ、主に、次のとりくみをすすめます。組織拡大・強化の方針では、「分会」とりくみ以上の拡大を「めざす」、「あたたかい、顔の見える長崎高教組運動をすすめる」ことにとりくみます。生活向上の方針では、「すべての労働者の賃金を引き上げ公務員の賃金改善をめざす」ことにとりくみます。教職員の権利拡大の方針では、「労働基本権の回復をめざす」こと、年金支給年齢が65歳までに

改善、「進路保障・教育条件の改善」にとりくみます。

憲法、平和と民主主義を守るとりくみでは、「改憲策動を国民的に包囲するたたかいは」、「憲法を守り生かす立場から」9条の会などの活動に積極的に参加する「こと」、「原発ゼロをめざす」ことなどにとりくみます。

## 第214定期中央委員会の日程

日時：一月二十六日(土)  
一〇時三〇分  
一六時三〇分まで  
場所：大村市民会館  
大村市東本町五七四

**総合共済** 月々600円の掛金で多くの給付!  
◆結婚・出産などにお祝い ◆火災・災害などにはお見舞い  
退職時には掛金が全額戻ります!  
全教共済



2013

# 養護教諭のつどい

## 「これまで」と「これから」について ベテラン養護教諭大いに語る!

1月12日(土)、長崎で、高教組養護教諭専門委員会は、大村コミュニティセンターで2013年度「養護教諭のつどい」を開催しました。参加者は未組合員6人を含み19人

今年度は、午前中、全教養護教員部中国、四国九州ブロック学習会の



木村和子さんの講演

報告の後、特別企画として「ようこそ先輩!」後輩達に贈る、とっておきの課外授業」を実施!

その内容は、「忘れないう生徒、出来事は?」「養護教諭をやった良かったと思っただけの瞬間は?」「これはつかえる!おすすめのテクニク」などの質問に対する具体的な回答を、ベテラン養護教諭一人ひとりに大いに語ってもらおうという企画でした。

### 2012年度 ゆきとどいた教育を求める 全国署名集約集会開催!



1月11日、2012年度ゆきとどいた教育を求める全国署名集約集会がおこなわれ、全国35都道府県のゆきとどいた教育をすすめる会などから約300人が、国会の議員会館近くの星陵会館に集まりました。長崎高教組からも馬場書記長と前田執行委員が参加しました。

集会では、全国私教連・山口直之さんの基調報告に続いて、神戸大学名誉教授・土屋基規さんがミニ講演「教育全国署名運動の意義と課題」をおこないました。総選挙の結果、教育政策がどのように変えられようとしているのか、それに対して教育全国署名のとくくみ

で集約した署名数を示すボードで示しながら、ステージに登壇し、とりくみの報告をおこないました。その結果、全国から集約された署名数は831万4639筆に達したこと報告されました。合わせて、3000万署名としてとりくんで以来、24年間で4億1922万筆を集約したことも報告されました。

### スクールソーシャルワーカーと 教師、関係機関の協働が大切

午後、長崎市教育委員会が勤務されているスクールソーシャルワーカー、木村和子さんの講演「学校とスクールソーシャルワーカーのネットワーク」を聴きました。

木村さんは、「ソーシャルワーカーは対人援助の専門職であり、特定の個人によりその業務。問題を解決するように指導するのではなく、サービスや資源の利用により個人のニーズの改善をはかる点で教師との専門的な違いがある」と述べ、さらにスクールソーシャルワーカーについて「困難を

抱えた子どもが持っている能力を最大限に発揮させる教育を支援すること。その子どもたちの生活の質を向上させることがスクールソーシャルワーカーの目的です」と述べました。また、学校現場で、スクールソーシャルワーカー、教師、スクールカウンセラーが協働することが大切であることも強調されました。

参加した未組合員からも、「とても勉強になりました」「このような学習会にもっと参加したい」などの感想が寄せられるなど、今年度の「養護教諭のつどい」は非常に好評であり、長崎高教組養護教諭専門委員会の今後のとりくみにも期待が持てるものでした。

安倍自公政権が、公共事業や企業への補助金を大盤振る舞いする一方で、生活保護基準の引き下げや地方公務員給与の削減などをねらい、大企業優遇、国民いじめ・労働者いじめの古い自民党政治の復活をすすめている」と指摘。また、春闘情勢にふれて、「経団連が、定期昇給の見直しにも言及している中で、連合は早々とベア要求を見送った」と批判し、労働者の権利を守り、働きがいのある職場をつくるために労働組合の役割が重要と強調しました。

### 2013旗開き



1月16日、長崎県春闘共闘会議は県勤労福祉会館で「2013年旗びらき」を開催、組合・団体から72人が参加しました。高教組は、春闘共闘議長兼任をしている本部馬場書記長をはじめ4人が参加しました。

馬場副議長が挨拶に立ち、「12月に成立した